

機械科

Machinery

「工業人として品格を育てる」

「ものづくりは人づくり」という精神のもと、多種多様な実習や資格取得に励み工業人としての品格を備えたエンジニアを育成します。

授業では興味深く学べるように「ものづくり」の基礎からコンピュータを使った機械の専門的知識まで幅広い内容を学習します。溶接・鋳造・切削加工などの機械加工の実習ではものづくりの基礎・基本を学習します。応用実習としてはNC工作機械、CAD、制御などの実習をします。特に、最先端の工作機械はコンピュータで制御が行われているため、プログラム作成や機械工作などの幅広い知識が要求されます。



在校生の声

1年 上田 樹里（北波多中出身）

私が唐津工業高校を選んだ理由は、「ものづくりによる人づくり」と「部活動による人づくり」に力をいれ、学校生活を楽しく過ごせると感じたからです。機械科には主に、旋盤や溶接などがあり、実際にたくさんの機械や工具に触れ、基礎からしっかり学び、自分の努力次第ではより多くの資格を取得することができます。また、部活動では男女関係なく楽しく充実した部活動がたくさんあり、中学校では経験できないようなマネージャーもすることができます。勉学と部活動を本気で望みたい人は、ぜひ唐津工業に来てください。

2年 吉田圭吾（肥前中出身）

私が唐津工業高校を志望した理由は、将来ものづくりに関する仕事に就きたいと思い、唐津工業を選びました。機械科では、旋盤、溶接、鋳造、手仕上げなどがあります。危険と隣り合わせですが、先生方は優しく教えてくださいますし、機械をしっかりと扱えた時はとても楽しいです。そして工業高校ならではの、専門的な資格にもチャレンジできます。また、学校行事も盛んで、唐工祭では各科の応援はとてもかっこいいですし、みんなが団結していてとても盛り上がります。就職率も高く、自分の進路をかなえることもできますし、年間を通して楽しい行事たくさんあります。ぜひ、唐津工業に来てください。

3年 相原高雄（第一中出身）

私が唐津工業高校を志望した理由は将来機械を扱う仕事に就きたいと思い、そのための知識を身につけたいと思ったからです。機械科では鉄の丸棒を加工して製品を作る旋盤や2つ以上の金属部品を熱を加えて溶かし、くっつける溶接が実習の授業で学べます。溶接は自動車や鉄道車両などに使われています。私は機械研究部に所属していて、資格取得や製品の精度を競うものづくり大会のため日々練習に励んでいます。ものづくり大会では企業の方が真剣に指導してくださるので技術も上がり目上の人との話し方やコミュニケーション力も身につきます。ぜひ、唐津工業高校に来てください。

電 Electronics 気科

「資格を取って進路実現 100%」

電気科を卒業すると第二種電気工事士の筆記試験が免除になります。さらに、第三種電気主任技術者免状については実務経験を積めば経済産業省に申請することで取得できます。

電気は情報通信、電子回路、発電送配電など様々な分野があります。本校の電気科は弱電といわれる電子回路、情報リテラシーとなるパソコン利活用、強電といわれる電気の発生と輸送について基礎から応用まで幅広い分野を学習します。特に実技に力を入れており、毎週1年生で7時間、2年生で3時間、3年生で9時間もの実験実習の時間を取り入れています。また、卒業後の進路は身に付けた専門技術をもとに電気の送配電業、工場や企業の電気設備の保守点検作業など様々な分野に就職することができます。



在校生の声

1年 河村 幸亮（肥前中出身）

私は、体験入学で電気科の実習を体験し興味を持ちました。将来は、電気科で学んだことを活かせる職業に就きたいと思っています。そのために、日々の授業に真面目に取り組み、多くの資格取得にも挑戦しようと思っています。クラスメイトは、明るくとても元気で仲がよく、毎日楽しく充実した高校生活を送っています。部活動は、サッカー部に所属しており、高校総体や選手権大会でよい結果が残せるよう頑張っています。高校でいっしょに夢を実現させましょう。

2年 山野 栞州（第五中出身）

私は、電化製品などの基盤を見るのが好きで、将来電気関係の仕事に就きたいと思い、電気についてより深く学べる電気科を志望しました。電気科の生徒は、第二種電気工事士などの資格の補習も一人も休むことなく取り組み、ほぼ全員が合格しております。私自身は、第一種電気工事士の試験にも合格でき、とても嬉しかったです。また、私はバドミントン部に所属しており、毎日休まず取り組み周りの手本になるよう一生懸命練習に励んでいます。部活動を頑張ったり、多くの資格取得を目指し、電気関係の仕事に就きたいと思っている中学生のみなさんは電気科にぜひ来てください。

3年 井手口 進真（第一中出身）

電気科は、資格取得のためのサポートが手厚く、進路希望の実現に近づけます。特に、第二種電気工事士試験の補習では、合格を目指し、資格を取る習慣と自ら挑戦する力を身につけることができました。実際に私も初めての資格試験で分からないことばかりでしたが、電気科の先生たちの熱心な指導のおかげで、無事に合格することができとても嬉しかったです。また、私は電気研究部に所属しており、毎年8月に行われる佐賀県ロボット競技大会へ向けてロボット製作をしています。一昨年は、県大会で準優勝し、青森県で開催された全国大会へ出場することができました。いっしょにロボット大会で全国を目指しましょう。

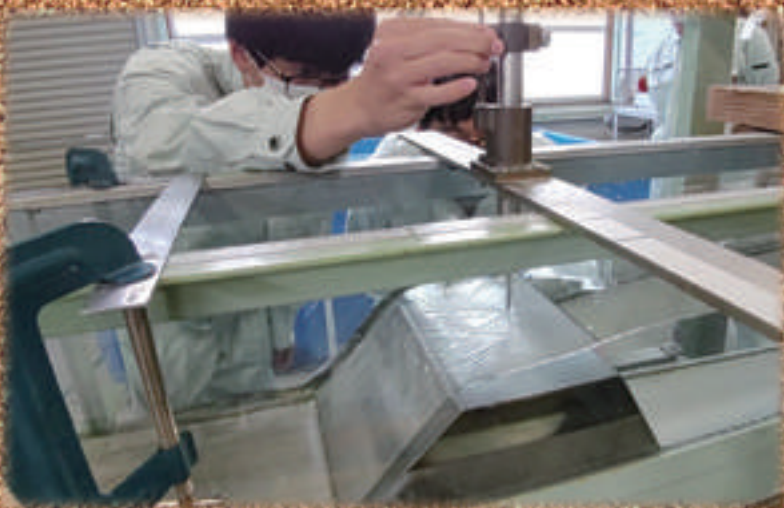


Civil Engineering 土木科

「未来のくらしをカタチに」

実践的な技術や技能、ドローン等の最新技術を身に付けた
人間性豊かな未来を担う技術者を育成します。

道路、橋、トンネル、鉄道、港湾・空港、ダム、宅地、上下水道、発電所、河川の堤防など、私たちの生活に欠かせない社会基盤に関わるものを建設するのが「土木」の仕事です。「土木」の仕事は、私たちの生活を安全で豊かなものにする大切な仕事です。これらの事業は国や県などの公共事業として行われることが多く、卒業生には技術者として公務員や民間会社の現場責任者として活躍している人が数多くいます。土木科では、身近な地域にとどまらず、世界を視野に環境問題にも積極的に取り組める建設技術者を育成することを目標としています。公務員、建設技術者、製造職、大学、専門学校など多様な進路選択が可能な学科です。



在校生の声

3年 生徒会長 古川 賢人（第一中出身）

私は、特別何かをしたい、どうなりたい等将来に悩んでいました。そんな折、唐津工業の体験授業で土木について学んだとき、土木が社会にとっていかに必要不可欠で、また奥行きのある学問だと思いました。その体験授業が終わった後の帰り道は違う風景に映りました。このような経緯を得て唐津工業高校の土木科を受験しました。専門的なことばかりで最初はついていけませんでした。先生方や先輩方から手厚くご指導いただき、段々と専門教科や実習が楽しくなり、益々土木に興味がわきました。実習では測量や小型建設機械の操縦など難しいものも多いですが、大変やりがいのある実習だと思います。今私が一番楽しみにしているのは、ドローンを使った測量です。土木科では最先端の技術を使った実習も体験できます。また資格試験ではパソコン利用技術検定や計算技術検定など、クラス全員で受験し、測量士補・危険物取扱者などにもチャレンジすることができます。先生にご指導いただき、挑戦した資格試験に受かった時の感動を今でも覚えています。土木科はとても活気のあり一度勢いがついたら、とてつもない団結力を発揮してやり遂げるような雰囲気を感じられます。皆が協力して頑張っています。将来私はこの学校で学んだ土木の知識を生かして、幅広く社会に貢献できる総合建設業の職種に就職したいと考え、努力しています。

唐津工業高校では、就職も進学も部活動すべてに力を入れている学校です。地域貢献・清掃活動も行っており、礼儀作法も学べるので立派な社会人としての成長もできます。是非、気軽に訪れてください。あなたたちに会えるのを心から楽しみにしています。

Architecture 建築科

「付加価値ある工業人の育成」

建築科を卒業した年に2級建築士が受験でき、合格したら最短20歳で1級建築士が受験できます。授業や実習を通して身につけた知識や技術を生かし、地域社会に貢献する工業人を育成します。

あなたは将来どんな家に住んでみたいですか？きっと、すばらしい夢や希望を持っていることでしょう。そんな夢を実現できる仕事が「建築」です。設計士、現場監督、測量などの各専門の技能者として自分の造った建物が形として残る、非常にやりがいのある仕事です。その建築のプロになるべく、建築に興味や関心があり、図面を描いたり現場で建物を造ったりすることが好きな生徒を歓迎します。建築科では、建築の基礎から応用まで分かりやすく指導しますので技術の習得はもちろん、建築大工3・2級をはじめ測量士補、2級建築施工管理技士（学科）など多くの専門的な資格を取得することができます。



在校生の声

1年 赤井 柊斗（伊万里中出身）

建築関係の仕事をしている祖父の影響で建築に興味を持ち基礎から学びたいと入学しました。建築研究部に入部し先生や先輩方から教わりながら、建築に関する知識や木材加工に関する技術が少しずつ身についてきていることを実感しています。これからも授業や部活動を通して頑張っていきたいと思います。

2年 福田 良育（相知中出身）

私は中学生の時から建築に興味があり建築科を受験しました。入学してからは知らないことばかりで、学びがある毎日を通して建築に対する興味が大きくなっていきました。建築科では製図や構造、設計、施工、実習でのCAD、木材加工、模型製作などの授業があるため沢山の知識や技術を学ぶことができます。以前の私は、工事現場を見かけると「どうやって家は建つんだろう」「どんな人が建てているんだろう」と思っていました。知識を身につけるうちに具体的に工事の内容が分かって嬉しくなります。私は先生からご指導いただき資格の勉強に励み難関の資格に挑戦しました。合格に向けて勉強し資格を取得できた時、自分の強みになります。将来の夢を実現させるために建築科で「知らない」を「知っている」に変えて自分自身を成長させていきたいです。『建築のすこさ』を沢山のの人に知ってほしいと思います。

3年 藤田 倅玄（鏡中出身）

私は幼少期よりものづくりが好きで、中学生の時に大工になって家を建てたいと思い志望しました。建築科では専門の知識や技術を学ぶことができ、将来必要な資格も沢山取得できます。私は建築大工技能士の国家資格を取得するため何か月間も先生から毎日指導していただき合格することができました。本校は部活動も盛んに行われています。多くの部が沢山の大会で良い成績を残しています。私はバスケットボール部に所属し、全国一勝をチームの目標に日々の練習に励んでいます。勉強と部活動を両立しながら充実した3年間を送ることができます。将来の進路も先生方からいろんなアドバイスをいただくとともに、将来したいことができる就職先や進学先を紹介してもらえます。本校に入学して良かったと思っています。